



厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長に就任して

厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部
精神・障害保健課 課長

小林 秀幸

公益社団法人日本精神保健福祉連盟の会員各位及び関係者の皆さまには、平素から精神保健福祉行政にご理解をいただき、各種施策の推進にあたり格別のご尽力をいただいていることに厚くお礼申し上げます。令和5年7月に精神・障害保健課長に着任以来、皆さまのご助言やご協力を賜わりながら、以下のような各種業務を進めているところです。

まず、精神保健福祉法の令和4年法改正については、すでに一部事項は令和5年4月に施行されていますが、精神科病院の入院患者の権利擁護を一層推進するための取り組みとして、医療保護入院について入院期間や更新手続きの設定などの制度見直し、障害者虐待の通報制度や入院者訪問支援事業などの新たな取り組みが本年4月から施行されます。具体的な運用については、昨年11月に省令を公布し、併せて通知やQ&Aを発出していますので、これらをご確認いただいた上で、円滑な施行に向けた準備をよろしく願います。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)」の構築については、精神障害の有無にかかわらず、誰もが安心して、地域で自分らしい暮らしを送ることができるよう、地域の基盤整備を推進しています。令和4年法改正では、母子保健や地域福祉等の様々な支援の場面でも顕在化しているメンタルヘルスのニーズに包括的・継続的に対応するため、自治体が実施する精神保健に関する相談支援の対象に「精神保健に関する課題を抱える者」が追加されました。各市町村において、福祉や母子保健等の様々な支援と一体的に又は連携した形で、精神保健に関する積極的な相談支援体制の充実が求められています。都道府県においては、市町村における相談支援体制の整備に関する技術的支援や、人材育成等のサポートが求められています。令和5年9月にとりまとめられた「市町村における精神保健に係る相談支援体制整備の推進に関する検討チーム」の報告書を踏まえ、精神保健福祉センターや、保健所及び市町村の運営要領の見直しを行い、本年4月から

適用します。

メンタルヘルスについて国民の理解促進も重要な課題であり、10月10日の世界メンタルヘルスデーを中心とした普及啓発に取り組んできたところですが、「こころのサポーター(ここサポ)」の養成も進めています。

依存症対策関連では、「アルコール健康障害対策推進基本計画」、「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」及び「再犯防止推進計画」等において、相談から治療、回復支援までの切れ目のない支援体制の整備が課題となっており、地域における関係機関の連携が求められます。

また、「アルコール健康障害対策推進基本計画」における重点課題として、飲酒に伴うリスクに関する知識の普及を図り、適切な飲酒の判断に資する「飲酒ガイドライン」を作成することとされています。当該ガイドラインは、純アルコール量に着目し、自分に合った飲酒量を決めて、健康に配慮した飲酒に留意するよう専門的知見をとりまとめるものであり、令和5年度末を目処の公表に向け作成を進めています。啓発の推進にあたり積極的にご活用いただきますようお願いいたします。

災害発生後には、被災者等に対するきめの細かい心の支援を中長期的に実施することが重要です。年次に発生した令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、被災者支援にご尽力いただいている皆さまに対し、この場をお借りして感謝申し上げます。

このほか心神喪失者等医療観察法に関する施策や、てんかん、高次脳機能障害、性同一性障害をはじめとする疾患等の対策も講じており、精神保健福祉に関する様々な課題に誠心誠意取り組んでまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますとともに、貴会の益々のご発展を祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

第70回精神保健福祉全国大会が開催される

公益社団法人 日本精神保健福祉連盟 事務局長

中山 拓 治

令和5年10月27日に大分県大分市、J:COMホルトホール大分で、第70回という節目である精神保健福祉全国大会が厚生労働省及び公益社団法人日本精神保健福祉連盟が主催し、大分県、大分市、大分県精神保健福祉協会、日本精神科病院協会大分県支部が共催、最高裁判所、内閣府ほか多数の中央省庁、各種医療関係団体等の後援を受けて大分県で初めて開催されました。

大会当日は、新型コロナウイルス感染症が減少傾向の中、オンラインを含め、大分県内外の精神保健福祉関係者や精神に障害を抱える当事者等約400人が参加されました。

本大会は、「誰もが安心して暮らせる地域社会の創造」を大会テーマとし、大会趣旨は、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指して、医療、障害福祉、介護、住まい、就労等、地域の助け合い、教育等が包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」を進めているところです。本大会を通して、関係者並びに地域の方々と精神保健福祉に関する理解を深め、正しい知識の普及と精神保健福祉の推進を図ることを目的としました。

午前10時から始まった記念式典では、前回開催県の山口県から「心をひらく鍵」の引き継ぎが行われた後、渕野勝弘 大会実行委員会会長の開会の言葉に続き、鹿島晴雄 公益社団法人日本精神保健福祉連盟会長の式辞、厚生労働大臣、大分県知事並びに大分市長の挨拶がありました。その後、精神保健福祉事業功労者の表彰に移り、個人57名及び9団体に厚生労働大臣表彰状が授与され、続いて公益社団法人日本精神保健福祉連盟会長表彰が行われました。受賞された皆様には日頃からの活動に敬意を表すると共に、心からお慶びを申し上げます。



記念式典は、最後に次回開催県の栃木県保健福祉部長から歓迎の挨拶で滞りなく終わりました。

式典終了後に行われたアトラクションでは、最初に手野神楽保存会（国東市無形民俗文化財）の皆様による演目「荒神 ～四方八方～」太鼓パフォーマンスが披露されました。「荒神 ～四方八方～」

とは、「畏怖と招福」くにさきの鬼は人々に降りかかる禍（わざわい）をその身に受け四方八方へと持ち去ってくれるという意味です。同保存会は国東市内各地における神楽奉納をはじめ、県内外のイベントへも積極的に参加しています。



近年では、障害者の生涯学習への参加促進を目的に、地域の社会福祉施設秀溪会とも連携した協同演目の制作活動や文化体験として外国人観光客の受け入れなども行っています。

続いて、大友杏葉武将隊の皆様による演目「歓迎おもてなし演武」が披露されました。大友杏葉武将隊とは、大分市を拠点に火縄銃演武を通じて戦国時代、九州の覇者となった「大友宗麟」公の歴史と時代を変えた鉄砲の関連などを伝承する「豊後大友宗麟鉄砲隊」がプロデュースした「おもてなし武将隊」です。二つのアトラクションにより会場を大変盛り上げていただきました。

午後からの記念講演では、日本自殺予防学会の張賢徳（ちょう よしのり）理事長が「生きることの意味を求めて」と題して講演されました。悩みを抱える人たちを支えるため、「その人自身の存在意義や生きる目標を一緒に考えてあげることが大切」であると話されました。

記念講演後には、「精神障害を持って地域で働くということ」をテーマにシンポジウムが行われました。大会実行委員会の渕野会長が座長となり、大分県内の医師、障がい者就業・生活支援センター職員などをシンポジストとしてお招きし、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムでは、精神障害の有無の程度に関わらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、重層的な連携による支援体制が必要であるとそれぞれの取り組みについてお話をいただきました。

最後に、宇都宮 和則 大分県精神保健福祉協会副会長の閉会の言葉で盛会のうちに閉幕しました。

本大会を成功裡に終えることができましたのは、大会実行委員会の渕野会長はじめ実行委員会の方々、そして大分県、大分市並びに関係団体の皆様のおかげであり、ご協力に心より厚く御礼申し上げます。



動き

movement

群馬県精神保健福祉協会の動き

群馬県精神保健福祉協会 会長 福田 正人

群馬県精神保健福祉協会は、県民の精神保健福祉の向上を目的に平成14年3月に設立されました。個人会員135人、団体会員43団体でスタートしましたが、誕生から二十一年を経た令和4年度末にはそれぞれ204人、65団体にまで成長しました。活動は個人会員と団体会員の会費によって支えられており、群馬県こころの健康センターが事務局を担っています。理事には、県内の精神保健医療福祉の関係団体代表だけでなく、社会保険労務士会・中学校長会・養護教諭会の代表も迎え、多くの県民に役立つ会であるよう努めています。

毎年5月に開かれる総会では、事業案や決算案の議決に加えて、当協会の事業や精神保健福祉発展に多大な貢献のあった会員団体が対象の「群馬県精神保健福祉協会会長表彰」と、精神保健福祉に関する知識の普及啓発や精神障害者の社会復帰と自立及び社会参加促進のために多大な貢献をされた個人が対象の「特別功労表彰」を行っています。

総会に引き続いて、メンタルヘルスや障害者への

サポートなどをテーマとした講演会「県民こころの健康づくりセミナー」を開催し、一般の方にも広く参加いただいています。総会と講演会は、令和2年はコロナ禍により書面開催、令和3年、4年はオンライン実施でしたが、令和5年度は4年ぶりに対面で開催することができました。

近年、若者の自殺が社会問題となっていることから、当協会では平成30年より「若年層を対象としたメンタルヘルスに関する出前講座」を事業化し、群馬県内の大学や専門学校等に協会員を講師として派遣してきています。

他団体との共催・後援事業としては、障害者スポーツ大会やふれあいバザー展などを行っており、これら活動を当協会のホームページや年1回発行の会員情報誌「精神保健福祉協会だより」で広くお知らせしています。

今後とも、群馬県をはじめとする行政機関、関係機関と連携しながら、県民の精神保健福祉の向上を目指し、活動していく所存です。



動き

movement

愛媛県精神保健福祉協会の動き

愛媛県精神保健福祉協会 会長 上野 修一

愛媛県精神保健福祉協会は、精神衛生に関する県民の理解を深め、精神の健康を増進し、あわせて精神障害の予防に努めることを目的に、「愛媛県精神衛生協会」として昭和32年に発足し、県や諸団体のご協力のもと、支部等と連携しての普及啓発事業のほか、機関誌の発行、関係団体への支援等を行っています。

普及啓発事業の一つとして、毎年11月頃に愛媛県精神保健福祉普及運動を実施しており、その主要事業として、愛媛県精神保健福祉大会「心のふれあい講座」を開催しております。この大会は、昭和37年から始まり、名称・内容を変更しながら毎年開催を続けておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度は初めて開催が中止となり、翌年度もオンライン開催に変更する等の対応を余儀なくされました。そしてようやく、今年度開催した第60回大会は、4年ぶりに制限のない集合形

式で開催することができました。今回は、「ひきこもり」をテーマとし、お笑いタレント髭男爵の山田ルイ53世氏に、笑いも交えた素敵なお話をいただきました。その他にも、県内で活動するひきこもり家族会の方による講演や、当事者・支援者の方々によるオカリナ演奏・作品展示等も行い、参加者からは大変好評をいただきました。

その他の協会事業としては、機関誌「ぷらっと」を年1回発行しており、今年度は「でておいで」をテーマに、大学・行政・事業所・当事者等の方々に、様々な内容で御執筆頂きました。

社会の複雑化・多様化により、心のケアの重要性はますます高まりつつある中で、今後も行政機関、関係機関・団体等と連携を強化しながら、心の病の予防、精神障がい者の社会復帰等、精神保健福祉の推進により一層努めてまいります。

公益社団法人 日本精神保健福祉連盟 加盟団体(社員名簿)

〒108-0023 東京都港区芝浦3-15-14 日精協会館内
 TEL 03-5232-3308 FAX 03-5232-3309
 会長 鹿島晴雄 理事長 長瀬輝諠

令和5年8月現在

種類	名称	所在地	TEL/FAX	代表者
公益財団法人	日本精神衛生会	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-1-10 メディアビル3F	03-3518-9524 03-3518-9524	理事長 小島 卓也
公益社団法人	日本精神科病院協会	〒108-8554 東京都港区芝浦3-15-14	03-5232-3311 03-5232-3309	会長 山崎 學
公益財団法人	復光会	〒273-8540 千葉県船橋市市場3-3-1	047-422-3509 047-423-0432	理事長 松本 雄策
公益財団法人	矯正協会	〒165-0026 東京都中野区新井3-37-2	03-3319-0640 03-3319-0643	会長 藤本 哲也
一般社団法人	全国精神保健福祉連絡協議会	〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町5-1 川崎市総合リハビリテーション推進センター気付内	044-200-2510 044-200-3974	会長 竹島 正
公益社団法人	全日本断酒連盟	〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-2 エスコート神田岩本町101号	03-3863-1600 03-3863-1691	理事長 伊藤 聰
一般社団法人	日本精神科看護協会	〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7階	03-5796-7033 03-5796-7034	会長 吉川 隆博
公益社団法人	アルコール健康医学協会	〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-13 グラン、フォークスV本郷ビル4階	03-5802-8761 03-5802-8763	理事長 田中 慶司
公益社団法人	日本精神神経科診療所協会	〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-38-2 ミヤタビル701	03-3320-1423 03-3320-1426	会長 三木 和平
公益社団法人	日本精神保健福祉士協会	〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3四谷 オーキッドビル7F	03-5366-3152 03-5366-2993	会長 田村 綾子
一般社団法人	全国手をつなぐ育成会連合会	〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-6 第三和幸ビル2F-C	03-5358-9274 03-5358-9275	会長 佐々木桃子

令和5年度 生涯スポーツ功労者及び 生涯スポーツ優良団体表彰式 開催報告 (高畑隆先生受賞について)

令和5年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰式が、令和5年10月13日(金)に霞が関中央合同庁舎第7号館3階講堂にて行われました。当連盟の理事であり精神障がい者スポーツ推進委員会事務局の高畑隆先生が受賞されました。高畑先生、ご受賞誠にありがとうございます。

※「生涯スポーツ功労者」及び「生涯スポーツ優良団体表彰」は、地域又は職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、もって地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及び団体を文部科学大臣が表彰するものです。



〈編集後記〉

昨年はコロナが落ち着きを見せ、日常活動や行事が再開されるようになりました。年始には能登半島地震が起き、甚大な被害となって復旧に向けた様々な支援が行われています。精神保健福祉では、精神保健福祉法令4年改正に伴って、その円滑な推進が期待されます。そして、誰もが何時でも何処でもより良い精神保健の推進が求められます。精神保健福祉大会は、大分県での70周年記念大会が盛大に開催されました。今年度は栃木県で全国大会が開催されます。(T. T.)

編集委員会

委員長 大西 守 公益社団法人日本精神保健福祉連盟常務理事
 委員 高畑 隆 一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会監事
 中庭 良枝 一般社団法人日本精神科看護協会本部事務局本部長
 中田 貴晃 キューブ・インテグレーション株式会社
 松井 知子 杏林大学元教授

発行 2024年2月10日



発行者 公益社団法人 日本精神保健福祉連盟

会長 鹿島晴雄

〒108-8554 東京都港区芝浦3-15-14

TEL 03-5232-3308 FAX 03-5232-3309

Email: office-renmei@f-renmei.or.jp

HP: <http://www.f-renmei.or.jp/>